

かほく

ワークシート

河北新報で自習しよう！

厚生労働省の新型コロナウイルス感染歴を調べる抗体検査結果

都府県	検査数(人)	陽性者数(人)	陽性率(%)	累積感染者数(人)	感染率(%)
宮城	3,009	1	0.03	88	0.004
東京	1,971	2	(A)	5,236	0.038
大阪	2,970	5	(B)	1,783	0.02

※東京と大阪の数字は厚生労働省の発表から

※累積感染者数は5月31日時点

問題

- ① 表の(A)(B)に入る数字を計算しましょう。
(A)
(B)
- ② 陽性率についてスペイン5%、アメリカ・ニューヨーク市20%という報告があります。単純に比較はできませんが、日本が低かった理由を考えましょう。
()
- ③ 今後予想される危険性を、記事を読んで書きましょう。
()
- ④ 今回の検査の陽性率と感染率(人口に対する感染者数の割合)を比較し、気づいたことを書きましょう。
()

(小中高校生/算数、数学、保健、ホームルーム)

答えは28日の朝刊に



数字は慎重に分析しなくてはなりません。「宮城県は1人か。少なくともよかった」とか「東京でも2人しかいないんだ」と、数字だけ見るとその少なさから安心感や気の緩みが生じます。「少ないけれど…」「この状

出題者から

態を維持するには…」というふうには、第2波に備えた準備を着々と積み重ねていきたいものです。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・県仙台二華高英語科教諭 大槻欣史)

次の流行時 感染拡大の危険性

厚生労働省が行った新型コロナウイルスへの感染歴を調べる抗体検査で、宮城県の陽性率(抗体保有率)は0.03%だった。結果をどう受け止めるか、国立病院機構仙台医療センターの西村秀一ウイルスセンター長に聞いた。

3009人に対して陽性者1人という結果から、宮城県内の人

仙台医療センター
ウイルスセンター長

西村 秀一氏に聞く

流行は小さく、感染者が極めて少ないということは言えるだろう。陽性者1人は、感染していても陽性となる「偽陽性」の可能性もある。「0.03」の数字が一人歩きするのは危険だ。

感染が広がっていない今だからこそ、日常を取り戻しつつ、次に備えることが重要だ。

大半の人が抗体を持っていない状況は、次の流行時の感染拡大の危険性を意味する。医療の受け入れ態勢に加え、社会面や経済面などの「第2波」対策も考えなければならぬ。同じような打撃が繰り返されれば、耐え切れない人が出てくる。

市民生活では、恐れ過ぎに陥らず、再流行の危険が出てきた場合に警戒を強める緩急も重要だ。

【かほくワークシートの模範解答】

①次の表の（A）と（B）に入る数字を計算しましょう。

（A）0.1% （B）0.17%

②日本の陽性率が低かった理由を考えてみましょう。

（解答例）マスクを着ける習慣／感染を抑え込む政府や自治体の戦略

③今後予想される危険性を、記事を読んで書いてみましょう。

（解答例）大半の人が抗体を持っていないので、再度流行した場合感染拡大の危険性が高く、医療や社会・経済への大きな打撃が予想される。

④今回の検査の陽性率と感染率（人口に対する感染者数の割合）を比較し、気づいたことを書いてみましょう。

（解答例1）感染率よりも陽性率が高いということは、無症状の感染者や検査を受けられなかった患者が多数いた可能性がある。

（解答例2）大都市である東京や大阪ではいわゆる「3密」を避けることが難しく、クラスター（感染者集団）が発生する可能性が高い。

27日の

答えだよ

